

JNSA ワーキンググループ紹介

デジタルアイデンティティ WG

【執筆】 SailPoint Technologies Japan 合同会社 佐藤 公理
【監修】 日本電気株式会社 WG リーダー 宮川 晃一

はじめに

本WGは「内部統制におけるアイデンティティ管理WG」として2005年に発足しました。企業内の“アイデンティティ”、クラウドにおける“アイデンティティ”などのデジタルアイデンティティに関する課題を議論し、執筆活動・セミナー・勉強会・成果物の公開・出版を通して“デジタルアイデンティティ”の啓蒙活動・普及促進・市場活性化を実施してきており今年度で16年目を迎えました。この度、本年度の活動として2021年11月26日に実施したウェブセミナー「Enterprise Identity Day再考!!エンタープライズ・アイデンティティ～ゼロトラストセキュリティの礎を確立する～」<https://www.jnsa.org/seminar/2021/identity/index.html> の開催報告を致します。

なぜ今Enterprise Identity（企業におけるアイデンティティ）か？

本WGは約50名が所属しており、月に1回の定例には常時30名程度が参加しています。2020年度末の定例で、「サイバーセキュリティ・ゼロトラストセキュリティにおいて、最も重要で基盤となるべきエンタープライズアイデンティティ（企業におけるアイデンティティ）への認知・理解が国内では不十分であり、啓蒙活動をしたい」という意見がありました。

メンバーの共通認識として、コロナ禍におけるリモートワークの広がりやクラウド利用の拡大でゼロトラストセキュリティへの認知は高まっている、一方、本来ならゼロトラストセキュリティの基盤として検討すべきアイデンティティ管理がサイバーセキュリティの議論の中でしっかりと語られることが少ないとの課題感がありました。ディスカッションを進め、本WG立ち上げのきっかけでもある「内部統制」の時と同様、今こそ「セキュリティ」におけるアイデンティティ管理の認知を高め普及促進する活動が“再度”必要な時ではないかとの結論に至りました。“再度”と記載の通りアイデンティティ管理がセキュリティを検討する上で中心となるべきというのが本WGメンバーの共通理解であり、過去にも出版物やセミナー等で認知・普及活動をしてきています。ただ、他のセキュリティソリューションに比べて最近は少しアピールが足りないのではないかとということで“再度”活動を強化しようとなりました。ウェブセミナーのタイトルも「Enterprise Identity Day再考!!エンタープライズ・アイデンティティ～ゼロトラストセキュリティの礎を確立する～」とし、今までもセキュリティの基礎であったアイデンティティ管理を“再度しっかりと考え直す必要がある”という意図を込めました。

開催レポート

11月26日のウェブセミナーは事前登録330名、当日視聴250名と当初の目標を大幅に超え、ゼロトラストセキュリティやアイデンティティ管理への関心が高いことが実感できました。アンケートにも100名以上に回答頂きました。全体・すべてのセッションで「やや満足」「満足」が80%以上となり、視聴者の皆様の期待に応えることができたと思います。

基調講演はセミナーの対象である「企業内で実際にアイデンティティ管理やアイデンティティガバナンスを推進していく方」と同じ立場で活動されているauカブコム証券の石川様とNTTの駒沢様にお願いました。石川様には、「高度にアイデンティティ情報を管理していくことがゼロトラストにおいては大事で、その上でどのように実践してきたか」を具体的にお話し頂きました。ゼロトラストはコンセプト・考え方であり、様々なソリューションを組み合わせる必要があるとはよく言われますが、具体的な方法が話されることはあまりありません。実際にアイデンティティ情報をどの

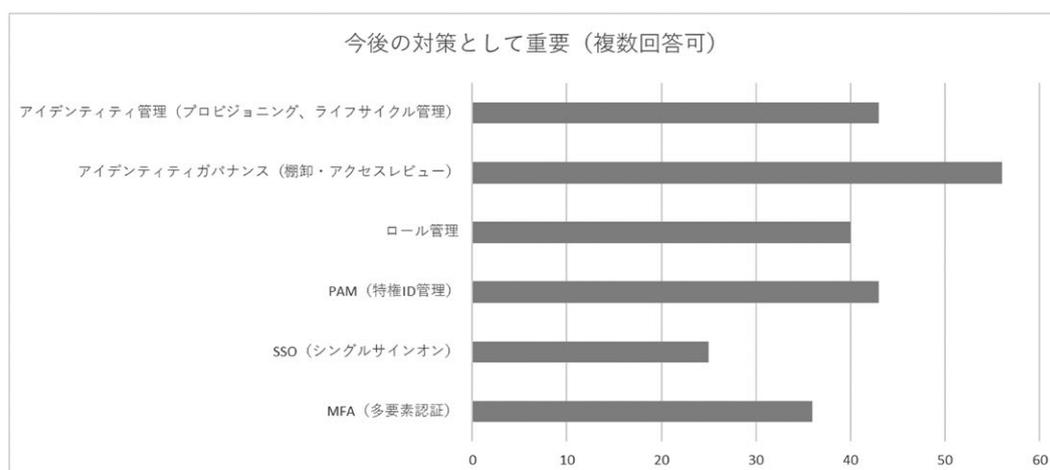
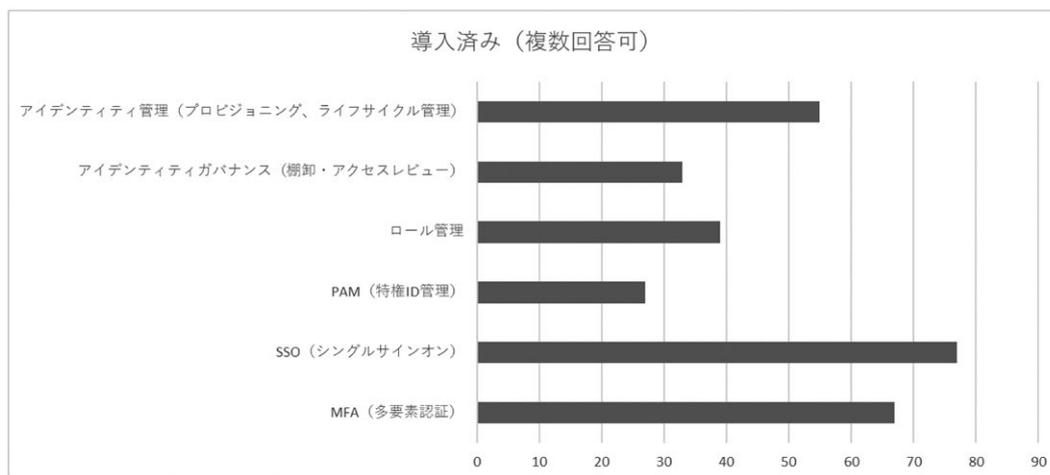
ように活かしてセキュリティを強化しているかを聞ける機会は非常に貴重でした。駒沢様の基調講演では、「経営から見たアイデンティティの位置づけ」として難しい技術の話ではなく、ワークスタイル・ゼロトラスト・DX・エンタープライズアーキテクチャの視点で企業におけるデジタルアイデンティティの大切さを整理・解説頂きました。

「課題発掘セッション」では、「IDaaSを導入しよう」の裏に隠れて見逃しがちなアイデンティティ管理の考える必要がある様々な要素を紹介しました。「アイデンティティは難しい」と言い切った気持ちの良いセッションでした。「再発見セッション」では、具体的な検討を行う上で参考になる本WGの成果物を紹介し、アイデンティティ管理・ロール管理・特権ID管理の3軸で、ゼロトラストが求める最小権限の原則を維持していくために、これまでのシステムをどのように変革していくべきかを紹介しました。

最後のパネルディスカッションでは普段のWGでの議論そのままに意見交換が行われました。ロール管理やアクセスコントロールを真剣に実施していくべきであり、そのためにWGメンバーとしても様々な場所で共感を持ってもらえるように話をしていこうということでした。

最後に100名の方に回答頂いたアンケートの結果をご紹介します。

図：アイデンティティ管理対策の導入状況・導入意向に関するアンケート集計結果 (n=104)



JNSA ワーキンググループ紹介

アイデンティティ管理で「導入済みのもの」と「今後重要なもの」を聞きました。SaaS利用の拡大や最近のID・パスワード漏洩による事件などもあり、SSO（シングルサインオン）、MFA（多要素認証）は多くが導入済みであることがわかります。一方、アイデンティティ管理、アイデンティティガバナンス、ロール管理、PAM（特権ID管理）は今後重要との回答が多いことがわかります。

今回のウェブセミナーでもアイデンティティ管理、アイデンティティガバナンス、ロール管理、PAM（特権ID管理）を重点的に取り上げており、視聴者の方へ今必要な情報を提供できたと考えています。

これまでの成果物、メンバーの紹介、今後

本WGではこれまでの成果物・メンバー紹介をWGのページに記載しています。またウェブセミナーの講演資料も公開しておりますのであわせて参照ください。ご意見・ご質問などあれば是非お寄せください。今後の活動の参考とさせていただきます。

- デジタルアイデンティティWG | NPO日本ネットワークセキュリティ協会
https://www.jnsa.org/active/std_idm.html
- Enterprise Identity Day再考!!エンタープライズ・アイデンティティ～ゼロトラストセキュリティの礎を確立する～
<https://www.jnsa.org/seminar/2021/identity/index.html>
- JNSA お問い合わせフォーム
<https://www.jnsa.org/aboutus/quote.html>

来年度もWGメンバー間でのディスカッション等を実施すると共に、積極的な普及促進・啓蒙活動も実施していきますのでご期待ください。WGへの参加も大歓迎です。